

修学旅行にて — 6年生が体現してくれた「ありがとう」の力—

校長 関根 祐一

記録的な長雨がが続いています。昨年同期の学校だより「所小っ子」では、日差しが強くWBGTの値に注意を払っていることを記述していました。今年は、多雨疲労やインフルエンザの早期流行に留意を要しています。

雨の9月でしたが、少ない機会を活かし、夏休み中に修繕していただいたプールでの授業を行いました。学期をまたぐ形になったものの、各学年で重ねておきたい水泳学習を進めることができ、9月25日（金）に今年度のプールを納めたところです。お子さんの体調管理や用具の準備等、ご協力いただきまして大変ありがとうございました。

これからは、運動会に向けた練習や諸準備が本格的になります。高く澄んだ爽やかな秋晴れの下、カー杯練習ができることを願っています。ご協力をお願いすることも多くあるかと思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



今年度の活動を納めた所小プール



9月25日(金)花*プロジェクト+全校除草 ありがとうございました。

さて、去る9月3日・4日に栃木県日光市方面への修学旅行に行って来ました。6年生の子供たちの生き生きとした活動とたくさんの笑顔で、大変素晴らしい修学旅行となりました。

折々の集いの場面でも、食事の時にも、話を聞くとときにはしっかり聞き、友達と楽しく過ごすときには思い切り楽しめるといふ、見事な切り替え・“めりはり”のある活動ぶりでした。

また、全ての活動を通して一人一人が主体的に声を掛け、支え合い、協力し合って、活動を目一杯充実させることができていました。自分達の力で修学旅行をより良いものへ、より楽しい思い出へと高めていく姿に大変感激しました。

印象深いのは、6年生の皆から感謝の言葉「ありがとう」「ありがとうございます（ました）」が沢山生まれていたことです。「ありがとう」の言葉には“力”があります。「ありがとう」で繋がる関係は、相互に関わることができる喜びを内包し、自分を表現できる安心を高め、他者を認めるとともに自己肯定感を高めていくことにもなる関係であると思っています。豊かな学び合いを生み出す重要な基盤に他なりません。

6年生の温かく頼もしい活動ぶりから、このことをあらためて実感できました。

時間が空いてしまいましたが、夏休みにあった林間学校でも、5年生の子供たちがしっかりと準備を重ね、大変立派な活動ぶりであったことを聞いています。

昨年度の高学年生の皆にも感じていたのですが、流石は所小の高学年生。この素晴らしさを、運動会でも、音楽会でも、また、これからの一日一日の学校生活でも発揮してくれるものと大いに期待しています。更に言えば、所小っ子たちの伝統の素晴らしさにまで引き継いでいてもらいたいと願っています。



修学旅行での活動の様子



9月18日(金) 令和8年度運動会の

応援団結団式

